

# 研 修 参 加 報 告 書

平成30年6月1日

会 派 名 江南クラブ  
会派代表者 福田 三千男  
(参加者：東猴)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年 月 日 | 平成30年5月9日(水曜日)～5月10日(木曜日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 研修時間  | 9日 12:30～17:00、10日 9:00～12:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 研修場所  | 公益財団法人全国市町村研修財団<br>市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) JAMP                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 研修内容  | 「市町村議会議員特別セミナー～多様化する地域課題～」<br><br>5月9日①<br>「深刻な所有者不明土地問題」<br>講師：増田寛也氏（元総務大臣、株式会社野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授）<br><br>5月9日②<br>「人口減少社会における地域づくりの展望」<br>講師：牧慎太郎氏（市町村職員中央研修所副学長、総務省地域力創造アドバイザー）<br><br>5月10日①<br>「地方財政の課題（自治体財政健全化 法と公会計・法適用）」<br>講師：小西砂千夫氏（関西学院大学大学院経済研究科人間福祉学部教授）<br><br>5月10日②<br>「人口減少時代に求められる子育て支援政策」<br>講師：榊原智子氏（読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員） |
| ■目的   | 多様化する地域課題のうち、昨今注目されている大きな4つのテーマについて研修し、江南市の課題解決の参考とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

## ■所感

### 【①「深刻な所有者不明土地問題」(増田寛也)】

所有者不明土地を今後どう処理していくかが全国の自治体の課題となっている。所有者土地不明地とは所有者台帳により、所有者が直ちに判明しない、又は判明しても所有者に連絡がつかない土地のことである。

例えば、買収予定地の登記簿について、所有者住所の記載がない。また、「所有者代表外4名」としか記載がないといった場合、土地の買収の進捗に大いに支障をきたしてしまう。年間で固定資産の納税通知が約2000件にも上る自治体もあるようだ。

こういった問題が起こる原因として相続登記が義務化されておらず、登記に求められる書類と費用が馬鹿にならないといった点がある。

そのため増田氏が座長を務める「所有者不明土地問題研究会」は、政府に所有者不明土地の公共的目的の利用を可能とする新制度(案)を提案している。

具体的には、地方自治体が道路などの公共事業の手続きの合理化・円滑化によって所有権を取得できるといった制度の検討を促すものである。ただし、こういった制度は法制審議会を通さないといけないためまだ数年以上の時間が必要であるとのこと。国の法整備が待たれる。

### 【②「人口減少社会における地域づくりの展望」(牧慎太郎)】

地球規模では人口増加が問題となっているが、わが国では人口減少が問題となっている。特に少子高齢化の進展は社会保障費の増加や労働力人口の減少につながり、GDPの減少要因となる。

こういった時代において魅力ある地域づくりをするには、前例踏襲や他地域のマネだけでは生き残ることはできず、どのような人材がいるか、集まってくるかが最大の地域魅力であると同氏は説いていた。

### 【③「地方財政の課題」(小西砂千夫)】

地方自治体の基金残高に対する説明責任の果たし方について、特にふるさと納税に伴う基金の扱いについて触れられた。ふるさと納税はその用途を何にするかが重要となっているが、起業支援のためのファンドや小学生の海外研修といった特別事業に充てる場合、ふるさと納税は指定寄付と同様に考えることができる。

よって、本来はその趣旨を条例設置によって明確にして、当該年度で費消しなかった寄附額を特定目的基金とすることで、一般会計と区分経理すべきである旨述べられた。

【④「人口減少時代に求められる子育て支援政策」（榊原智子）】

医療・健康・福祉を身近な拠点でワンストップに提供される日本版ネウボラの重要性を述べられた。また、女性の労働参加率が高い国は出生率も高い傾向にあるという。確かに昨今、共働きが当然の時代になったが女性の労働参加を妨げる制度や慣習などがいまだ残っている。PTA への参加も働く女性たちにとっては大変負担の大きい活動である。こういった昭和の時代のシステムをどのように削減していくかが重要である。